

# 高知新聞南国北村販売所通信

高知新聞南国北村販売所 所長・北村陽政 南国市上末松333-4 ☎088-863-0831



高知新聞をご愛顧いただき  
誠にありがとうございます

高知新聞南国北村販売所 所長・北村陽政



購読申込フォーム



高知新聞のある暮らし



特集

長岡小学校 いこいの庭再生  
～ 池に魚放流 植樹も ～





# 長岡小学校 いこいの庭再生～池に魚放流 植樹も～



令和5年度の4年生が、校庭の南端に「いこいの庭」という石碑を見つけ、調べてみると「いこいの庭」は1971年に造られ、学童クラブの工事等のためになくなってしまったこと、石碑だけが校庭の隅に追いやられてしまったということが分かりました。また、児童たちは、学校のビオトープにも着目したのですが、そこは雑草に囲まれ、水があるので危ないとの理由で立ち入り禁止となっていました。

ドロが何十センチも溜まってしまっているビオトープの掃除に取りかかるとともに、その周りを新たな「いこいの庭」にすることを決め、「いこいの庭復活作戦！」がスタートしました。

ビオトープは、排水設備が壊れており、掃除を仙頭工務店さん、改修・改造と庭造りを栄樹造園さん・佐々木造園さん、壁面のタイル貼りを古田タイルさんと一緒に行いました。新たな庭の完成を記念するため西村大理石商店さんのご協力で石碑（校庭の隅にあった石碑を新たな庭に移動させました）の裏側に、子どもたちの字で「祝 いこいの庭復活」「令和5年度4年生一同」と刻み込みました。

地域の皆さまのご協力とご支援で、子どもたちの願いや思いの詰まった新たな「いこいの庭」が完成しました。

修理できたビオトープには、子どもたちの願いどおり噴水もできました。壁面は、ビオトープに集う生き物たちの姿を、タイルを貼って表現し、一部には陸地をつくり、魚のための隠れ家もつくりました。

3月14日には、ご協力いただいた皆さまや保護者の皆さまを招いて、「いこいの庭」の復活を祝う会を行い、協力いただいた皆さんに児童から感謝状を贈呈し、テープカットを行いました。児童が育てた野菜を使ったピザを振舞ったり、「いこいの庭」の魅力を伝えたりして、みんなで「いこいの庭」の復活を喜び楽しんでいる様子でした。



## 感想

長岡小学校 植野文香 さん

ビオトープはすごきたなくて、みんなはじめは入るのを嫌がっていたのに、見ちがえるようにきれいになってとてもうれしいです。たくさんの地域の方や先生たちに助けられてやっとできた「いこいの庭」です。だから、これからも大切にしたいし、私たちの願いどおり、地域の人たちにも使ってもらえる庭になってほしいです。



## 感想

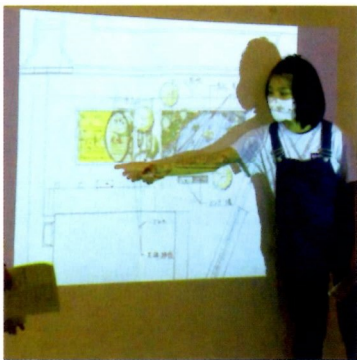
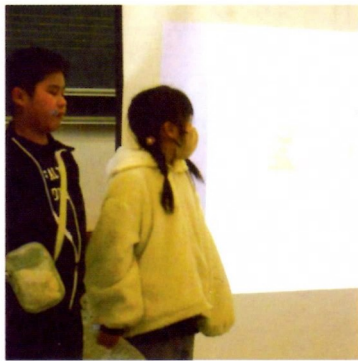
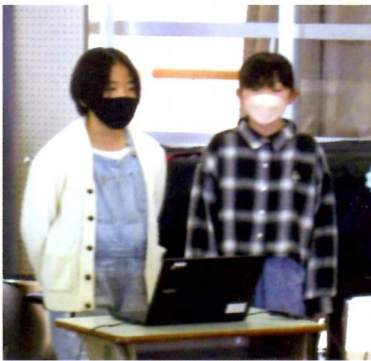
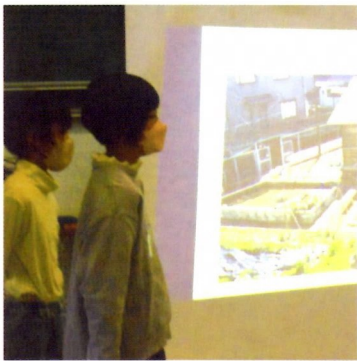
長岡小学校 北村さくら子 さん

「いこいの庭」を新しく完成することはとても難しく、先生からもたくさん助言や意見をもらいました。みんなで協力してようやく完成しました。私は、人工芝のところでゴロゴロしてくつろげるのがお気に入りです。みんなが休めるような庭になったとおもいます。これからも「いこいの庭」を大切にしていきたいです。



## 担任山本なるみ先生のコメント

長岡小の「いこいの庭」を復活させたいという思いからはじまった庭づくり。生き物にとって、長岡の仲間にとってどんな庭がいいかを考え、行動し、振り返り…ついに形になりました！この学習を通して、子供たちは「様々な人の力があつたら、困難なことでも実現できる」と実感できたのではないかと思います。長岡の歴史に残る学習ができることを、心からうれしく思います。



# 「いこいの庭」 児童が再生

## 南国市長岡小 池に魚放流 植樹も

南国市下末松の長岡小学校の4年生47人が、学童クラブの新設工事などで消えた校内の「いこいの庭」を復活させ、14日にお披露目式が開かれた。地元業者らの協力で老朽化したビオトープの池も再整備し、子どもたちの遊び場としてよみがえらせた。

「長岡小学校百年史」によると、庭は1971年、PTA活動の文部大臣表彰受賞を記念して造られた。当時の在校生の記憶では、体育館の南側にあり、「いこいの庭」と刻まれた石碑があった。ソテツが植わり、芝生が敷かれ、遊具も置かれていたという。

しかし、児童のけが防止や2021年度の学童クラブ工事のため、遊具は移設



復活した「いこいの庭」でくつろぐ児童  
(南国市の長岡小学校)

されて立ち入れなくなった。石碑もいつの間にか校庭の隅へ。庭の当初の

姿は跡形もなく、存在は教職員にも児童にも徐々に知られなくなった。

児童たちは昨年4月、総合的な学習の時間に校内で荒れ果てた池と庭の石碑を発見。「池をきれいにして『いこいの庭』を復活させ

よう」と、池のある場所に庭を再生することにした。

池には泥がたまり、水が抜けない。重い石碑も動かせない。困った児童たちが相談すると、地元の工務店や造園業者らが無償で手伝ってくれた。石碑の裏には「祝 いこいの庭復活」と新たに彫ってもらった。

完成した庭は約75平方メートル。池にはもともとすんでいた魚を放し、周りにはベンチ3基を配置。座ったり寝転んだりできるように人工芝を敷いた。カブトムシがすみ、1年生に生活科でドングリを使ってほしいと、クヌギやコナラなどの苗木も植えた。

この日は式に先立ち、児童たちが再生の活動を振り返った後、テープカット。地元業者や保護者らは、子どもたちが育てた野菜のピザで祝った。

谷岡あいかさん(10)は「みんなで協力して庭が復

活してうれしい。たくさんの生き物がすんでほしい」。彼末健一校長は「疑問から始まった子どもたちの願いがかなった。地域の人たちの協力に感謝したい」と話した。

(上野実由子)